

十勝川水系自然再生 地域連携委員会 提言(案) 説明資料

十勝川水系自然再生検討会 (第5回) 令和7年2月27日

はじめに

第1章 総論

- 1.1 十勝川水系自然再生地域連携委員会について
- 1.2 十勝川水系自然再生基本計画について
- 1.3 地域連携の推進に向けた論点整理
 - 1.3.1 「人づくり」について
 - 1.3.2 「地域づくり」について
 - 1.3.3 「社会づくり」について
- 1.4 地域連携（人づくり・地域づくり・社会づくり）の方針

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

- 2.1 地域連携に関する取組について
- 2.2 重点的な取組テーマ～「人をつくる観光」について～
 - 2.2.1 重点的な取組テーマの抽出
 - 2.2.2 検討内容について
- 2.3 重点的な取組テーマ推進にあたっての課題
 - 2.3.1 持続可能な取組に向けた推進体制の構築
 - 2.3.2 自然再生事業の取組を通じた豊かな地域社会づくりへの貢献
 - 2.3.3 効果を検証する仕組みづくり
 - 2.3.4 担い手育成の促進に向けた検討

- 2.4 基本計画への提言（案）

- 2.4.1 人づくり
- 2.4.2 地域づくり
- 2.4.3 社会づくり

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

- 3.1 今後の進め方について（案）
- 3.2 重点テーマ（人をつくる観光）に関する具体的な取組について

参考～十勝川水系自然再生事業を取り巻く社会的環境の変化について

本文目次

はじめに

第1章 総論

1.1 十勝川水系自然再生地域連携委員会について

1.2 十勝川水系自然再生基本計画について

1.3 地域連携の推進に向けた論点整理

1.4 地域連携（人づくり・地域づくり・社会づくり）の方針

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

参考～十勝川水系自然再生事業を取り巻く社会的環境の変化について

はじめに

■ 記載内容の説明（本文P1）

- 「十勝川水系自然再生地域連携委員会 提言（案）」は、「人づくり」、「地域づくり」、「社会づくり」をテーマに「十勝川」の価値を活かした地域活性化に向けた意見を記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 「十勝川水系自然再生地域連携委員会」は、十勝地域に根差し、様々な分野で活動する委員の参加により、十勝川流域の自然環境のほか十勝川水系自然再生事業等による整備と関連して河川環境を活用した地域活性化に関する取組の検討・助言を行うことを目的として、令和6年8月以降これまで4回にわたり議論を重ねてきた。
- 本「提言」は、今後、自然再生事業により一層の価値の向上が期待される十勝川流域を地域の財産と位置づけ、十勝川の恵まれた自然環境に関わる「人づくり」、「地域づくり」、「社会づくり」をテーマに「十勝川」の価値を活かした地域の活性化に向けた意見をとりまとめたものである。
- この「提言」が、十勝川流域で生活する人たちはもとより、十勝川水系の自然を愛して活動する人たち、十勝川の魅力を求めて訪れる人たちのために少しでも貢献できることを祈念する。

第1章 総論

1.1 十勝川水系自然再生地域連携委員会について

■ 記載内容の説明（本文P2）

- 十勝川水系自然再生地域連携委員会の位置づけを記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 十勝川水系の自然再生にあたっては、計画推進にあたっての技術的な検討・助言を行う十勝川水系自然再生技術検討会とともに、自然再生事業等による整備と関連し、河川環境を活用した地域活性化に関する取組の検討・助言を行うことを目的として十勝川水系自然再生地域連携委員会を設置しており、技術的な側面と地域連携的な側面の双方から専門的な検討を行いながら推進する体制を構築している。
- 十勝川水系自然再生地域連携委員会（以下本委員会という）は、このような位置づけの中、十勝川水系の地域活性化に向け「利活用の促進」「地域経済への寄与」「持続的な維持管理」などの分野で地域と連携した取組について検討を行い、その結果を「自然再生実施計画」に反映していくものである。

本文目次

はじめに

第1章 総論

1.1 十勝川水系自然再生地域連携委員会について

1.2 十勝川水系自然再生基本計画について

1.3 地域連携の推進に向けた論点整理

1.4 地域連携（人づくり・地域づくり・社会づくり）の方針

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

参考～十勝川水系自然再生事業を取り巻く社会的環境の変化について

第1章 総論

1.2 十勝川水系自然再生基本計画について

■ 記載内容の説明（本文P3）

- 基本計画で示した「十勝川水系自然再生の方針」（基本計画本文P31）を基に、生物多様性と地域活性化の繋がりを記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 十勝川水系自然再生基本計画においては、自然再生により得られる自然環境等を活用して地域活性化を目指すこと、「人づくり」「地域づくり」「社会づくり」という3つの視点で地域活性化に取り組むことを示した。

■ 十勝川水系自然再生の方針



事例)十勝川下流付近湿地環境の保全



事例)十勝川中流付近水際環境の創出



事例)札内川霞堤を活用した環境創出

波及効果



本文目次

はじめに

第1章 総論

1.1 十勝川水系自然再生地域連携委員会について

1.2 十勝川水系自然再生基本計画について

1.3 地域連携の推進に向けた論点整理

1.3.1 「人づくり」について

1.3.2 「地域づくり」について

1.3.3 「社会づくり」について

1.4 地域連携（人づくり・地域づくり・社会づくり）の方針

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

参考～十勝川水系自然再生事業を取り巻く社会的環境の変化について

第1章 総論

1.3 地域連携の推進に向けた論点整理 1.3.1 「人づくり」について

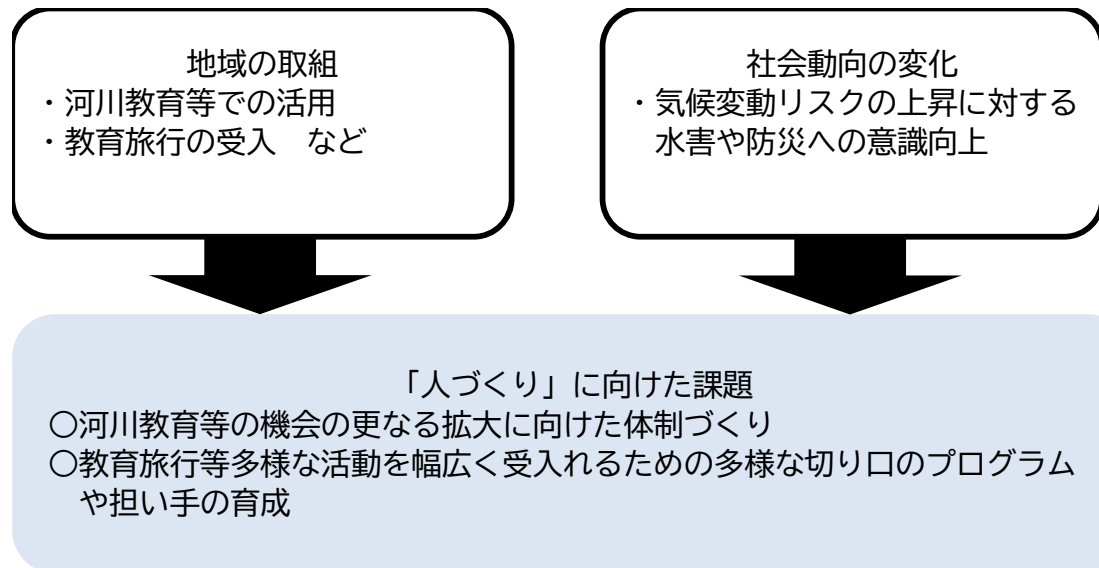
■ 記載内容の説明（本文P4）

- 「人づくり」の定義を整理し、その上で関連する地域の取組ならびに社会の動向を踏まえ、「人づくり」における課題を記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 「人づくり」は、河川の利用を通じた人材育成を指す。具体的には、自然共生社会の実現に向けて、自然を理解し、正しく畏れる関係を持つための環境教育や、十勝川という地域資源に触れ、地域に対する愛着や誇りを養うために、河川空間を利活用することを指す。また、下記の「地域づくり」や「社会づくり」に関係する取組を担う、地域の担い手の育成についても含まれる。
- 今後においては、地域で継承されてきた文化面も含め、地域の教育機関や市民団体などと連携して河川教育の機会を充実していくための体制づくりが課題となるほか、河川空間を活用した教育旅行を幅広く受け入れるための多様な切り口のプログラム提供や担い手の育成などが課題となる。

■ 「人づくり」に向けた論点整理（地域の取組、社会動向の変化、課題）



本文目次

はじめに

第1章 総論

1.1 十勝川水系自然再生地域連携委員会について

1.2 十勝川水系自然再生基本計画について

1.3 地域連携の推進に向けた論点整理

1.3.1 「人づくり」について

1.3.2 「地域づくり」について

1.3.3 「社会づくり」について

1.4 地域連携（人づくり・地域づくり・社会づくり）の方針

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

参考～十勝川水系自然再生事業を取り巻く社会的環境の変化について

第1章 総論

1.3 地域連携の推進に向けた論点整理 1.3.2 「地域づくり」について

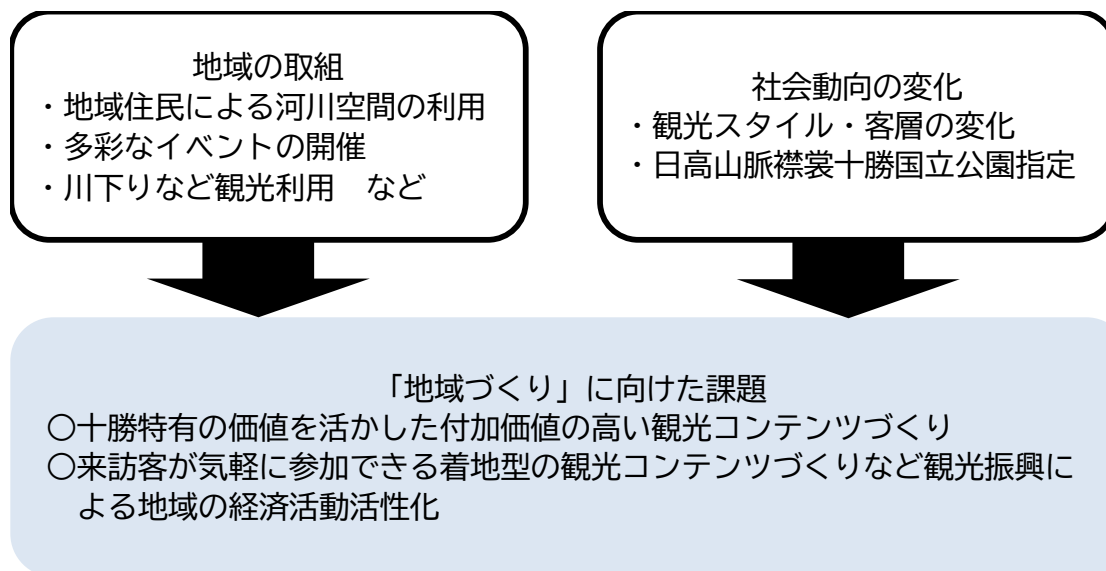
■ 記載内容の説明（本文P5）

- 「地域づくり」の定義を整理し、地域の現状と社会の動向を踏まえた上で、「地域づくり」における課題を記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 「地域づくり」は、河川空間や流域の地域特有の自然や文化的な資源を活かし、地域の賑わいの創出や観光振興に貢献することを指す。
- 今後においては、十勝川水系の河川空間を活用した観光振興に向け、十勝特有の気候や地形、自然を活用しながら地域の価値を体感してもらえるようなユニークかつ付加価値の高い観光コンテンツの創出が課題となるほか、外国人観光客に対応可能なガイドの育成や 来訪客が気軽に参加できる着地型の観光コンテンツづくりによる滞在力の強化など、観光振興による地域の経済活動活性化が課題となる。

■ 「地域づくり」に向けた論点整理（地域の取組、社会動向の変化、課題）



本文目次

はじめに

第1章 総論

1.1 十勝川水系自然再生地域連携委員会について

1.2 十勝川水系自然再生基本計画について

1.3 地域連携の推進に向けた論点整理

1.3.1 「人づくり」について

1.3.2 「地域づくり」について

1.3.3 「社会づくり」について

1.4 地域連携（人づくり・地域づくり・社会づくり）の方針

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

参考～十勝川水系自然再生事業を取り巻く社会的環境の変化について

第1章 総論

1.3 地域連携の推進に向けた論点整理 1.3.3 「社会づくり」について

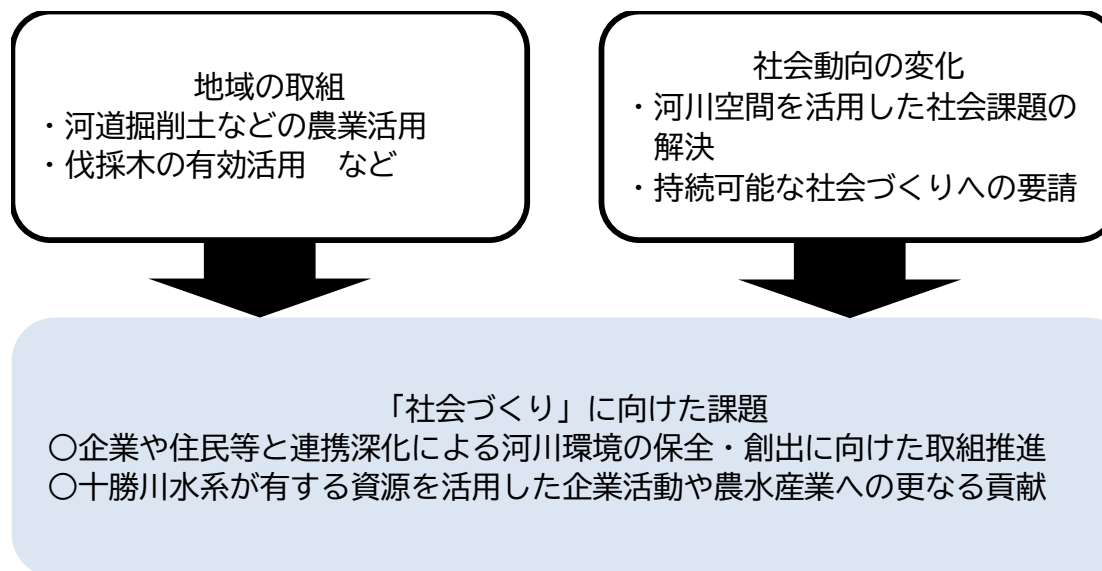
■ 記載内容の説明（本文P6-P7）

- 「社会づくり」の定義を整理し、地域の取組と社会の動向を踏まえた上で、「社会づくり」における課題を記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 「社会づくり」は地域と連携した持続可能な社会への貢献の視点として、地域の産業活動との連携のほか、民間企業の環境意識の高まりを踏まえ、ネイチャーポジティブ※の実現に向けた取組と連動して、民間企業との連携による河川環境の保全・創出の取組により、よりよい川づくりを目指す活動を指す。
- こうした背景の中、流域内に立地する企業や住民等と連携を深め、河川環境の保全・創出を推進していくことが課題となるほか、十勝川水系が有する資源を活用した地域の企業活動や農水産業との連携を一層推進していくことが課題となる。

■ 「社会づくり」に向けた論点整理（地域の取組、社会動向の変化、課題）



本文目次

はじめに

第1章 総論

- 1.1 十勝川水系自然再生地域連携委員会について
- 1.2 十勝川水系自然再生基本計画について
- 1.3 地域連携の推進に向けた論点整理
- 1.4 地域連携（人づくり・地域づくり・社会づくり）の方針

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

参考～十勝川水系自然再生事業を取り巻く社会的環境の変化について

第1章 総論

1.4 地域連携（人づくり・地域づくり・社会づくり）の方針

■ 記載内容の説明（本文P8）

- ・ 十勝川水系自然再生に関する地域連携に向けた方針を記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- ・ 前項で整理した課題ならびにこれまでの地域で取組などを踏まえ、十勝川水系自然再生に関する地域連携推進に向けた方針について、「人づくり」「地域づくり」「社会づくり」という3つの視点ごとの取組項目とそのねらいをまとめた。

■ 地域連携（人づくり・地域づくり・社会づくり）の方針

視点	目標	項目	ねらい
人づくり	河川教育など生涯学習を通じた人材育成 →自然共生社会の実現に向けた環境教育や地域に対する愛着や誇りの醸成、取組を担う担い手の育成	河川教育	地域の教育機関などと連携した河川教育の機会をさらに広げ、水害や防災への意識向上のための機会を創出。
		担い手育成	十勝川の河川空間を活用した教育旅行の担い手のほか、地域づくりや社会づくりに関する多様な担い手を育成。
地域づくり	自然・文化など豊富な地域資源を活用した地域振興 →河川空間や流域の地域特有の自然や文化的な資源を活かし、観光等の豊かさや賑わいの創出に貢献	賑わい創出	レクリエーション利用や各種イベント利用等地域住民に河川空間を気軽に親しんでもらうための取組を推進。
		観光振興	地域の価値を体感してもらえるようなユニークかつ付加価値の高い観光コンテンツの創出等を通じた地域の経済活動活性化。
社会づくり	地域産業と連携した持続可能な社会への貢献 →地域の産業活動や民間企業との連携による河川環境の保全・創出の取組	地域共創	持続可能な社会づくりに向け、流域内に立地する企業や住民等との連携による河川環境の保全・創出に関する取組推進。
		産業連携	十勝川流域で発生した伐採木や掘削土等の提供・利用を通じ、十勝川水系が有する資源を活用した地域の産業活動への更なる貢献。

本文目次

はじめに

第1章 総論

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

2.1 地域連携に関する取組について

2.2 重点的な取組テーマ～「人をつくる観光」について～

2.3 重点的な取組テーマ推進にあたっての課題

2.4 基本計画への提言（案）

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

参考～十勝川水系自然再生事業を取り巻く社会的環境の変化について

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

2.1 地域連携に関する取組について

■ 記載内容の説明（本文P9）

- 前述の地域連携の方針に関し、これまで十勝川水系で行われてきた「人づくり」「地域づくり」「社会づくり」に関する取組概要を記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 人づくり
 - ①河川教育
教育機関と連携し、小・中学生を対象とした川の自然環境調査（水生生物調査、簡易水質調査）が行われているほか、十勝管内を訪れる修学旅行生等を対象として川下り体験等地域を学ぶ多様な観光コンテンツの提供が行われている。
 - ②担い手育成
流域内の小中学校教員を対象とした川の安全管理講習会の実施などを通じ、河川教育を行う担い手の育成を行っている。また、かわたび交流会などを通じた多様な活動を支える人材のネットワーク形成支援、かわたびコーディネーターによる河川と地域の魅力マッチングなどの取組が行われている。
- 地域づくり
 - ①賑わい創出
地域住民等によりカヌーや散策、サイクリングなど河川空間を活用した様々なレクリエーション活動が行われているほか、イカダ下りや花火大会、アイヌ文化に関連したあきあじ祭りなど河川空間を活用した多彩なイベントが開催されている。
 - ②観光振興
四季折々の自然環境や景観、地域文化など十勝川水系の多様な資源を活用した観光コンテンツが提供されているほか、十勝川流域の自治体などを中心に、十勝川の河川空間を活用したアドベンチャーツーリズムなど多様な観光コンテンツの試行・開発が進められている。
- 社会づくり
 - ①地域共創
十勝川流域の民間事業者等と連携し、河川環境の保全・創出について検討を進めている。
 - ②産業連携
農地の浸水被害軽減を目的として河川の掘削土を利用した農地の嵩上げなどが行われているほか、河川空間で発生する伐採木等を企業に無償提供により、カーボンニュートラルの推進に貢献している。

本文目次

はじめに

第1章 総論

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

2.1 地域連携に関する取組について

2.2 重点的な取組テーマ～「人をつくる観光」について～

2.2.1 重点的な取組テーマの抽出

2.2.2 検討内容について

2.3 重点的な取組テーマ推進にあたっての課題

2.4 基本計画への提言
(案)

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

参考～十勝川水系自然再生事業を取り巻く社会的環境の変化について

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

2.2 重点的な取組テーマ～「人をつくる観光」について～ 2.2.1 重点的な取組テーマの抽出

■ 記載内容の説明（本文P10）

- 重点的な取組テーマを「人をつくる観光」と設定している。選定にあたっての考え方に加え、「人をつくる」と「観光」というそれぞれの言葉に込めた意味を記載してる。

■ 本文の記載（抜粋）

- 重点テーマの検討にあたっては、十勝川水系に関連する様々な取組において、後継者不足が大きな課題であり、若い世代への引継ぎが地域にとって重要となること、観光という切り口は「人づくり」「地域づくり」「社会づくり」の全てに関連するものであり、経済面のみならず社会面も含め幅広い波及効果をもたらすこと、観光を通じて地域内外のあらゆる層に十勝川水系の価値を広く認知してもらう機会が創出されることといった視点を踏まえ、河川空間を活用した「人づくり」「地域づくり」「社会づくり」という3つの方針を包括するテーマとして設定した。
- なお、「人をつくる観光」のうち、「人をつくる」という部分は、教育旅行など観光行動を通じて地域や河川についての理解を深めてもらうことだけでなく、河川に関連した観光を担う各種ガイドなどの人材育成、さらには地域づくりや社会づくりを担う人材育成も含めたキーワードとして設定した。さらに、「観光」についても、経済波及効果だけでなく、地域外から地域資源（十勝川）を再び見つめなおすことを通じて、十勝川に対する誇りや愛着を高める効果も期待される。

本文目次

はじめに

第1章 総論

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

2.1 地域連携に関する取組について

2.2 重点的な取組テーマ～「人をつくる観光」について～

2.2.1 重点的な取組テーマの抽出

2.2.2 検討内容について

2.3 重点的な取組テーマ推進にあたっての課題

2.4 基本計画への提言
(案)

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

参考～十勝川水系自然再生事業を取り巻く社会的環境の変化について

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

2.2 重点的な取組テーマ～「人をつくる観光」について～ 2.2.2 検討内容について

■ 記載内容の説明（本文P11）

- 地域連携委員会での意見を踏まえ、重点的な取組テーマである「人をつくる観光」を推進するための留意点や検討内容について記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 【「人をつくる観光」を推進する上での留意点等（例）】
- ツアーの参加者が興味を持って自ら学びとってもらえる機会の創出が必要
- 地域特有の自然資源（景観、地形、気候等）の価値を知ってもらうことが必要
- 外国人観光客など具体的なターゲットを想定した実現可能なプランを検討することが必要
- 地域住民が十勝川水系とともに育んできた文化・知恵を伝承・活用していくことが必要

- 【「人をつくる観光」に関連した具体的な検討内容（例）】
- 防災を切り口とした教育旅行の推進
- 河川空間を活用し、十勝特有の価値（気候、地形、自然等）をストーリーを通して体感してもらう観光コンテンツづくり
- 観光の波及効果を高める着地型の観光コンテンツづくり
- 観光を通じて十勝の農業や食産業、歴史への理解を深めてもらう観光コンテンツづくり

本文目次

はじめに

第1章 総論

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

2.1 地域連携に関する取組について

2.2 重点的な取組テーマ～「人をつくる観光」について～

2.3 重点的な取組テーマ推進にあたっての課題

2.3.1 持続可能な取組に向けた推進体制の構築

2.3.2 自然再生事業の取組を通じた豊かな地域社会づくりへの貢献

2.3.3 効果を検証する仕組みづくり

2.3.4 担い手育成の促進に向けた検討

2.4 基本計画への提言(案)

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

参考～十勝川水系自然再生事業を取り巻く社会的環境の変化について

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

2.3 重点的な取組テーマ推進にあたっての課題

■ 記載内容の説明(本文P12)

- 重点的な取組テーマを推進するために、現時点で想定される課題を記載している。

■ 本文の記載(抜粋)

- 2.3.1 持続可能な取組に向けた推進体制の構築
- 地域連携の取組については、河川管理者と地域が一体となりながら持続的な取組を進めていくことが重要な視点となる。観光振興の取組についても、河川空間という素材を使いながら、需要者である観光事業者や旅行者のニーズを踏まえた観光コンテンツづくりを行うなど持続性に配慮した取組を進めることが必要である。また、地域連携の取組を持続可能なものにするためには、連携相手となる地域や企業、人にとっても参加する魅力がある取組を提示するとともに、多様なプレイヤーが気軽に参加できるような仕組みを検討していく必要がある。
- 2.3.2 自然再生事業の取組を通じた豊かな地域社会づくりへの貢献
- 今回の地域連携の取組は、あくまでも十勝川の自然再生事業の取組をいかに幅広く社会全体に波及させていくかという点が基礎になる。このため、「人づくり」「地域づくり」「社会づくり」を進める上でも、十勝川水系が有する固有の価値を通じて、いかに豊かな地域社会づくりを実現するかという理念を共有していくことが必要となる。
- 2.3.3 効果を検証する仕組みづくり
- 重点的な取組テーマの推進においては、実証調査などを通じて様々な効果等を検証していくことが必要となる。具体的には、調査を通じた教育効果や参加者の理解度の検証、地域の受入体制のあり方、地域への経済波及効果などについて検証を行っていくことが必要となる。
- 2.3.4 担い手育成の促進に向けた検討
- 重点的な取組テーマにおいては「地域づくり」に加え、「人づくり」「社会づくり」を担う人材の育成について幅広く検討していくことが必要となる。そのためには、地域内の様々な分野で活動している団体や個人の連携の促進などについて重点的に検討していくことが必要となる。

本文目次

はじめに

第1章 総論

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

2.1 地域連携に関する取組について

2.2 重点的な取組テーマ～「人をつくる観光」について～

2.3 重点的な取組テーマ推進にあたっての課題

2.4 基本計画への提言
(案)

2.4.1 人づくり

2.4.2 地域づくり

2.4.3 社会づくり

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

参考～十勝川水系自然再生事業を取り巻く社会的環境の変化について

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

2.4 基本計画への提言（案）

■ 記載内容の説明（本文P13）

- 地域連携委員会でのご意見や基本計画の地域連携に関する内容を踏まえ、「人づくり」「地域づくり」「社会づくり」それぞれの分野に関する今後の取組内容案について記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 2.4.1 人づくり
 - 河川教育
 - 地域の教育機関等との連携や「おびひろ市民学」など域内の生涯学習に関する取組とも連携しながら、教育現場のニーズを踏まえた環境教育の機会創出を支援していくとともに、域内の観光事業者や旅行会社、市民団体等との連携により、水害や防災への意識向上などを切り口とした多様な観光コンテンツの開発を支援していく。
 - 担い手育成
 - 教員を対象とした講習会などを通じて河川教育の担い手を支援していくほか、十勝川かわたびプロジェクトの推進などを通じて、河川空間を活用した多様な人的ネットワークの形成を支援していく。
- 2.4.2 地域づくり
 - 賑わい創出
 - 十勝川流域の住民が気軽に河川空間にふれあい、住民の生活の質の向上に寄与できるような環境の維持・創出を図っていく。
 - 観光振興
 - 十勝川水系で推進される自然再生事業の取組とも連携しながら、十勝特有の気候や地形、生態系、景観、産業などをストーリー付けし、じっくりと体感してもらえるような付加価値の高い観光コンテンツの創出を支援していく。また、来訪者が気軽に参加できる観光コンテンツづくりなどを通じ、地域の滞在力強化を支援していく。
- 2.4.3 社会づくり
 - 地域共創
 - 社会における環境への関心の高まりを背景として、企業と連携した河川環境の保全・創出に関する取組を進めていくほか、河川空間の美化活動など住民等との連携とした河川空間の維持に関する取組を推進していく。
 - 産業連携
 - これまで地域で進めてきた掘削土の活用などを通じた農業との連携に関する取組を進めるほか、魚類の生息環境向上を目指した環境整備していく。また、伐採木の活用などに関する取組を推進していくことで、カーボンニュートラルの推進に貢献していく。

本文目次

はじめに

第1章 総論

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

3.1 今後の進め方について(案)

3.2 重点テーマ(人をつくる観光)に関する具体的な取組について

参考～十勝川水系自然再生事業を取り巻く社会的環境の変化について

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

3.1 今後の進め方について(案)

■ 記載内容の説明(本文P14)

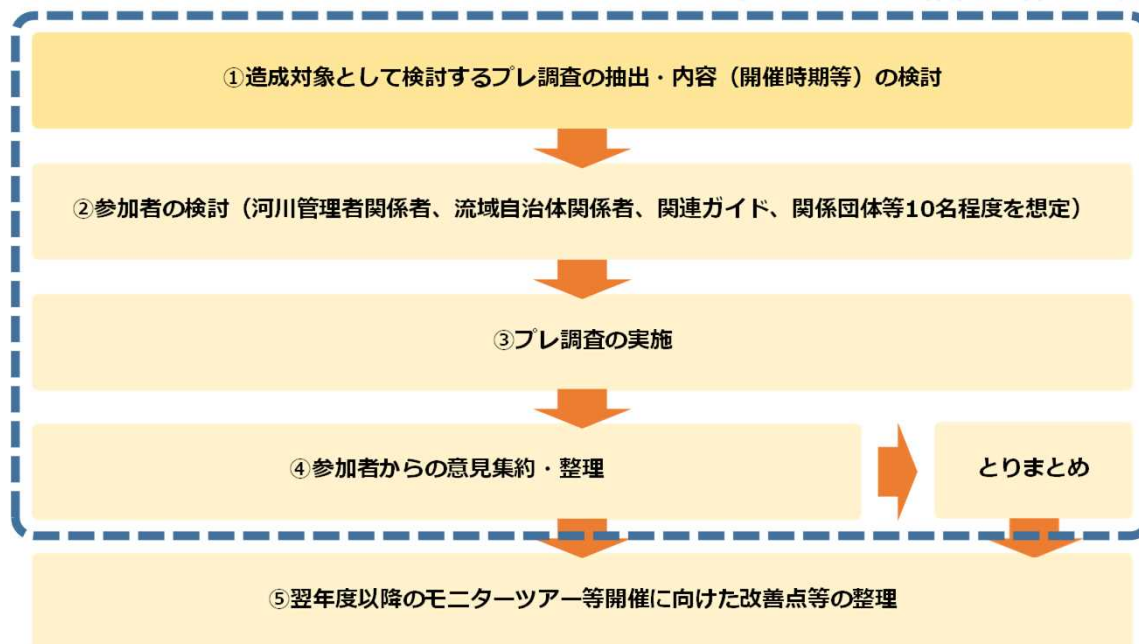
- 今後の取組イメージについて記載している。

■ 本文の記載(抜粋)

- 地域連携に関する多様な取組のうち、先行して推進する「人をつくる観光」について、沿川の自治体や観光協会、観光事業者等様々な関連機関との連携により、実証的な取組(河川空間を活用した観光コンテンツ開発など)を進めていく。
- 具体的には、令和6年度の委員会において議論を重ねた「人をつくる観光」に関する取組方針を踏まえ、関係者が連携しながら、プレ調査(関係者によるツアー内容の磨き上げ等)などを通じて可能性を検討し、その結果についてとりまとめる。
- 今後の持続的な観光コンテンツの開発支援に向け、かわたび交流会など既存の枠組みを通じて地域(自治体や観光協会、観光事業者等)と連携した地域連携の取組を推進していく。

■ 十勝川水系自然再生地域連携委員会の今後の取組イメージ

今後の委員会で議論を行う内容



本文目次

はじめに

第1章 総論

第2章 十勝川水系自然再生事業を活かした地域連携の推進に向けて

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

3.1 今後の進め方について(案)

3.2 重点テーマ（人をつくる観光）に関する具体的な取組について

参考～十勝川水系自然再生事業を取り巻く社会的環境の変化について

第3章 今後の地域連携の推進に向けて

3.2 重点テーマ（人をつくる観光）に関する具体的な取組について

■ 記載内容の説明（本文P15）

- それぞれの分野の抽出の視点や具体的な展開例、位置づけについて記載している。

■ 本文の記載（抜粋）

- 重点テーマである「人をつくる観光」の推進に向け、プレ調査の実施の対象となるコンテンツについて本委員会での検討経過を踏まえ以下の4つの分野をベースに取組を進める。

■ 地域連携委員会の意見を踏まえた抽出の視点及び具体的な展開例

分野	抽出の視点	具体的な展開（例）
①地域の食や農業・文化などの理解を深めてもらう学習コンテンツ	十勝川水系と十勝地域が育んできた農業・食料生産を学ぶ機会の創出	地域産業と川や水との関わりを学ぶ教育旅行向けツアー など
②十勝川水系における自然の価値を体感してもらえる高付加価値型コンテンツ	十勝地域特有の自然資源（景観、地形、気候等）の価値を理解してもらう機会の創出	外国人観光客などを対象とした川下りやサイクリング、トレッキングを組み合わせたツアー など
③防災意識の啓発を切り口とした教育旅行向けコンテンツ	参加者が興味を持って自ら学びとってもらう機会の創出	域内外の教育機関を対象とした川流れ体験など楽しみながら防災について学べるツアー など
④地域の滞在力を強化する気軽に楽しめる着地型コンテンツ	十勝への宿泊客が着地で気軽に申し込める機会の創出	アイスカルーセルや天然氷スケート体験など十勝の魅力を短時間で楽しめるツアー など

■ 4つの分野の位置づけ

